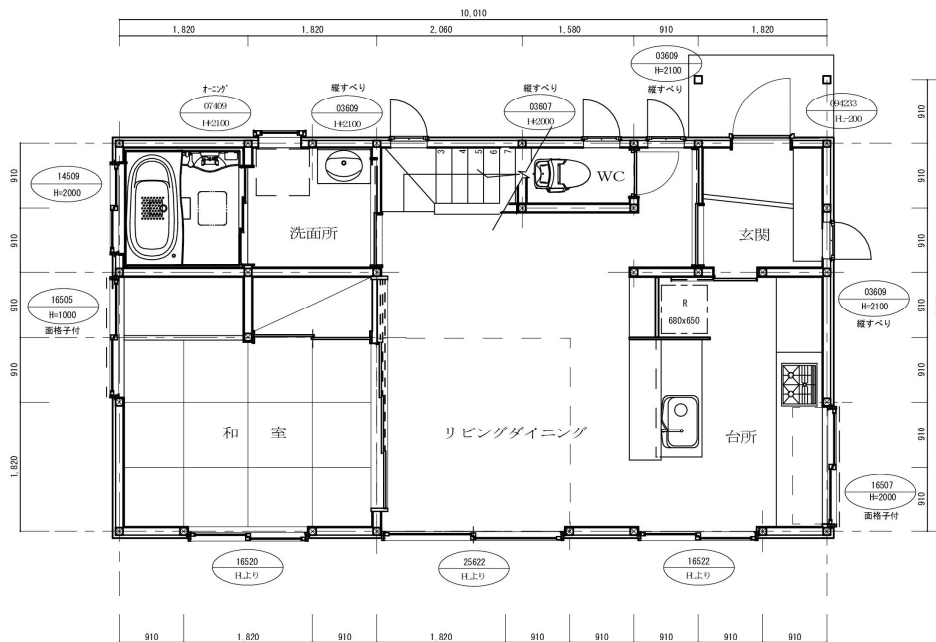


参考資料 4 復興住宅例 A・B の平面図、立面図

復興住宅例 A 平面図



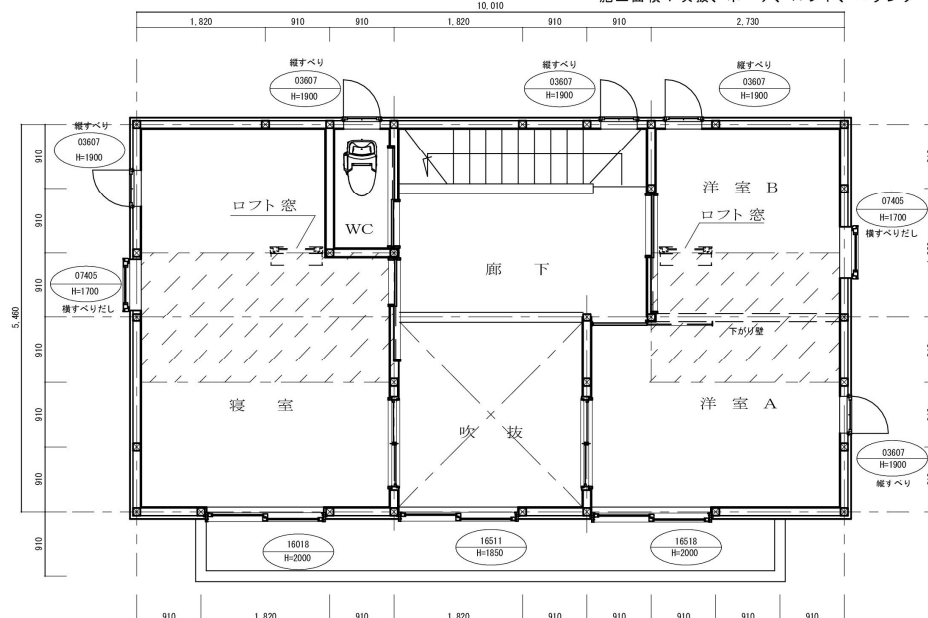
1階平面図

1階床面積 54.65㎡

2階床面積 47.19㎡

延べ床面積 101.84㎡

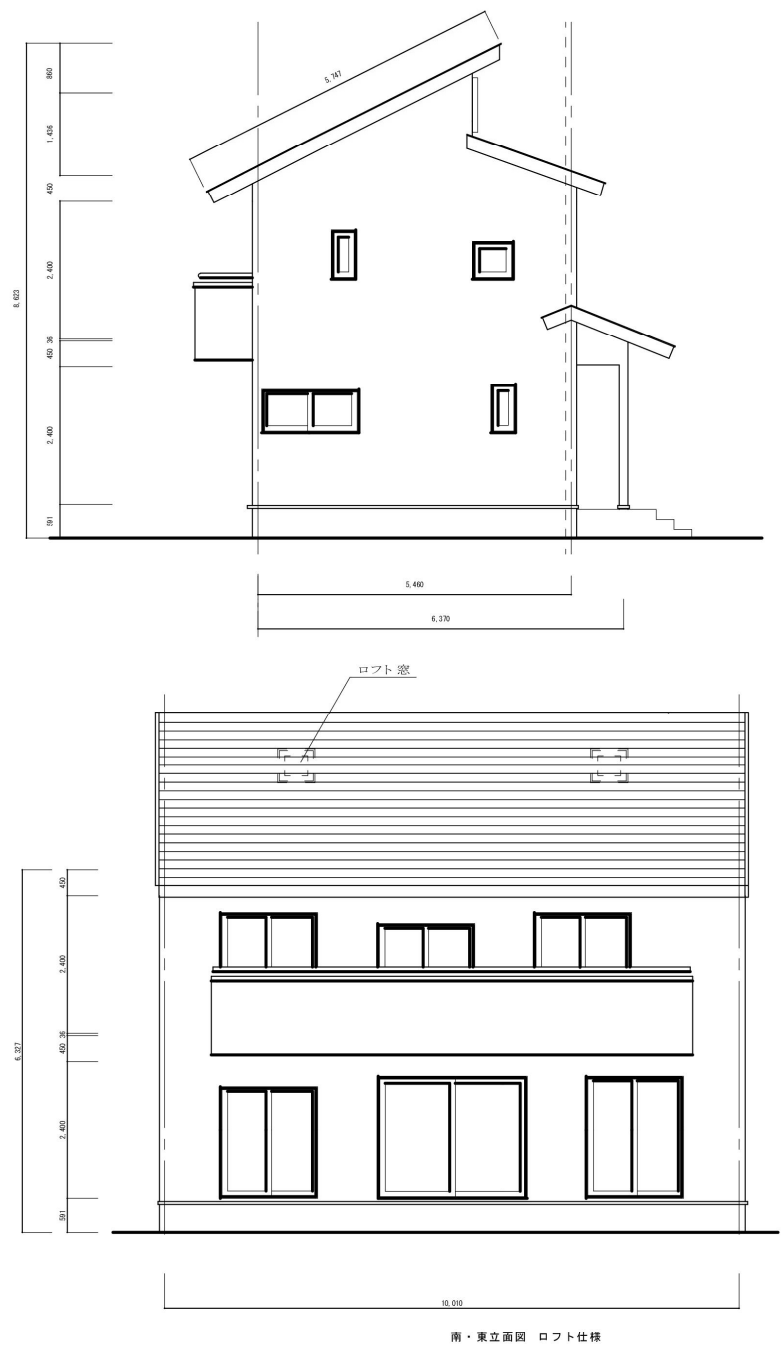
施工面積：吹抜、ポーチ、ロフト、ベランダ 136.62㎡



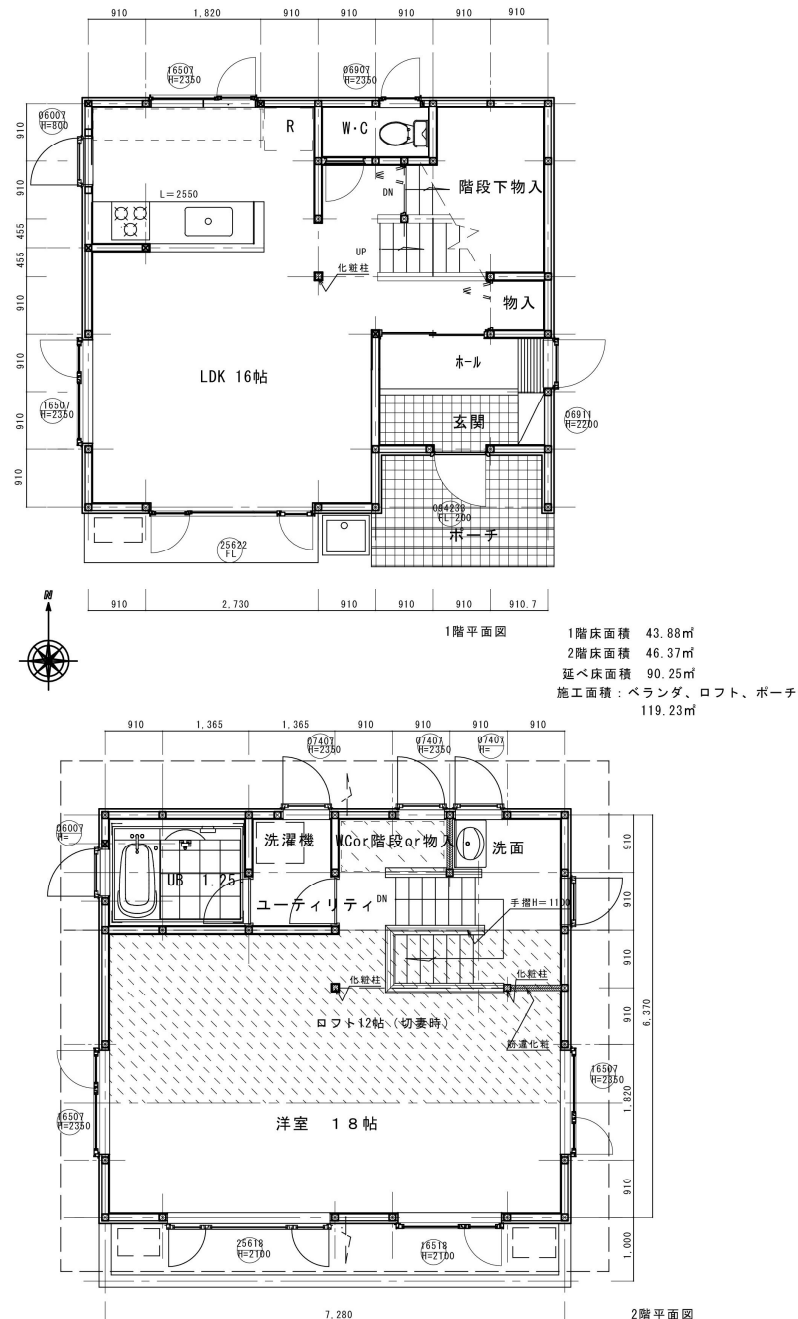
2階平面図

北玄関として南側に最大限の窓が配置されたパッシブデザインのプラン。中央の吹抜と階段により空気循環をはかり、南面にバルコニーを設けて日射の制御に配慮している。勾配屋根を活かしてロフトを設け収納を確保するとともに、吹抜から高窓を通しての風の流れを生み出している。

復興住宅例 A 立面図

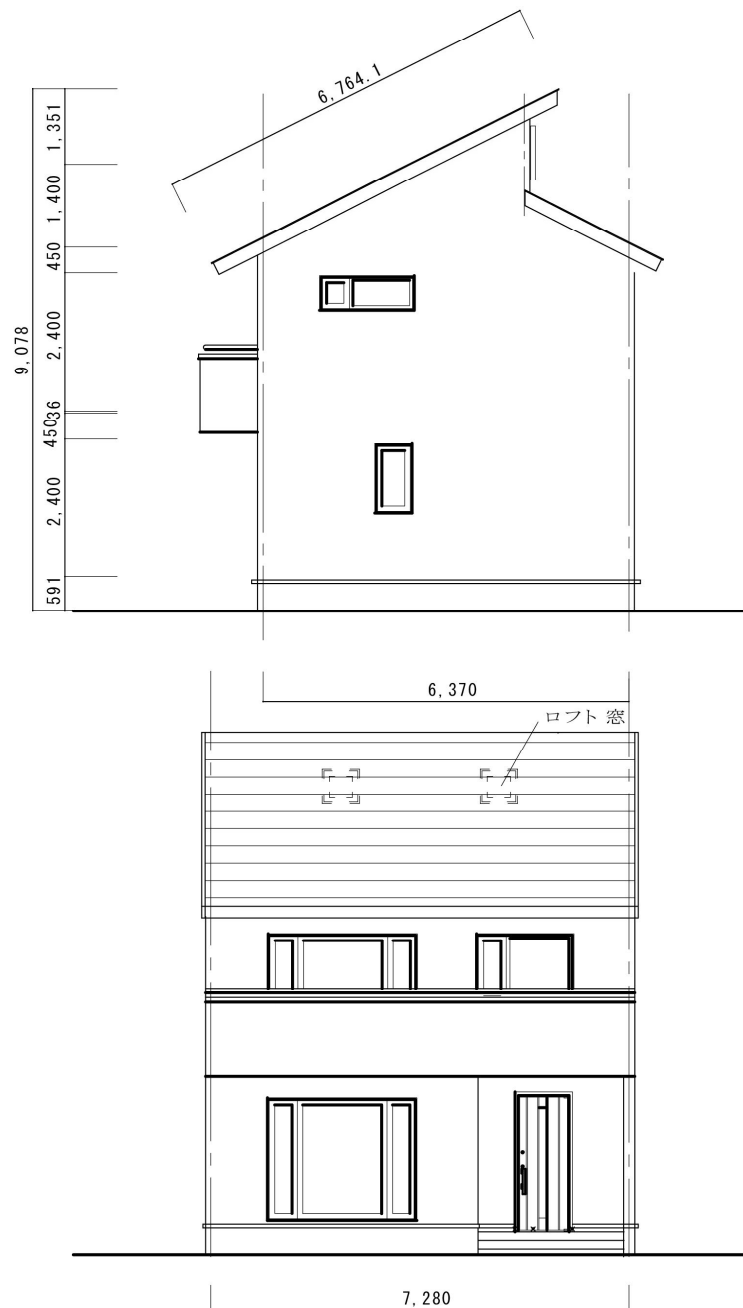


復興住宅例 B 平面図



南玄関として最小限の床面積で空間と間取りの工夫次第で家族 3～4 人が暮らせる基本プランとして考えた、階段部をオープン化し吹抜の役目を持たせ風の流れも自然に流れていくようにし水周りを 2 階に設定することによって 1 階の LDK を最大限確保し収納も階段踊場下部に設けている、踊場に洗面を配置しているがユニットバスの設定を 1.25 から 1 坪に変更すれば 1 坪の洗面脱衣室を確保出来る、またロフトも設け屋根断熱仕様によっては収納だけではなく屋根裏部屋として使用出来るように広く設定している、この様に住まう人の希望を聞きながら最小でありながら最大に利用出来るプランとした。

復興住宅例 B 立面図



南・東立面図 ロフト仕様